

幽霊列車とこんぺい糖ーメモリー・オブ・リガヤ



[幽霊列車とこんぺい糖ーメモリー・オブ・リガヤ 下载链接1](#)

著者:木ノ歌 詠 (著)

出版者:富士見書房

出版时间:2007

装帧:文庫本

isbn:9784829164006

「うそっ!最悪だ…」中学二年生の有賀海幸は、7月の焼けつくような日射しの中、思いっきり絶望感を味わっていた。地元のローカル線に飛び込み自殺をするはずが、廃線になっていたから…。自分に保険金までかけるという海幸の完璧な計画は、変更を

余儀なくされてしまう。そんな彼女の前に、突然リガヤと名乗る女子高生が現れた。タガログ語で“幸せ”を意味する名を持つリガヤは、海幸を廃線の線路の先へと誘う。そこにはポツンと一台の廃棄車両があったー。「ボクがこいつを『幽霊鉄道』として、甦らせてみせる!」そう宣言するリガヤとともに、こうして海幸の不思議で先の見えない夏が始まった…。瑞々しく切なく揺れる少女たちのひと夏を描く、青春ファンタスティック・ストーリー登場。

作者介绍:

目录:

[幽霊列車とこんぺい糖ーメモリー・オブ・リガヤ_下载链接1](#)

标签

轻小说

百合

木ノ歌詠

清澈

日本

ラノベ

评论

非常之中二。感情描写过于牵强，强加的设定感让读者难以共鸣。结尾的重生部分描写节奏感还不错，但前期梗做得太足无法自圆，强行good end的無理やり感仍是无法掩饰的硬伤。チコちゃん这个人物感觉被作者半途而废了，另外佐藤的洗白太生硬

夹杂在百合间的狂气，100RMB值了！

被这本书炸出来了！节奏很舒服，甜美百合的狂气发展也合我胃口~金平糖之吻美！原本以为会是BE，这样的结局也不坏。最后感谢中翻，心痒想看原版。

没想到是星刻的作者写的，标准结局

被感觉很治愈的标题外加百合要素吸引而来，然而对话苍白，人物刻画完全没体现出来……我错了我再也不看标题挑小说了……

百合直球是看点，但写成这样也算是浪费题材了。无论是哪种关系都描写得太过单薄，虽然这也有篇幅的问题。高潮描写更是乏力，结尾不符合我的文学审美。很遗憾，明明都是我喜欢的要素的。

后面简直各种高能……全书没一个喜欢的角色，智子酱给我的感觉有点像TIGER&DRAGON里面龙儿的妈妈，简直就是差不多的设定嘛。伽莉亚多好的一个天才少女啊被姐姐大人调教成个病娇，有种才能被安在了不对的人物上的感觉。姐姐这种女性男女通吃还真想见识下呢。

一天看完，很好看的，前期心疼心疼那个以自己死为代价通过保险来为母亲生活担忧的主角，后期心疼姐姐抛弃妹妹和别人一同赴死的另一人主角，结局实在令人欣慰。

[幽霊列車とこんぺい糖ーメモリー・オブ・リガヤ 下载链接1](#)

书评

[幽霊列車とこんぺい糖ーメモリー・オブ・リガヤ_下载链接1](#)